

広報 かるまい11

平成21年(2009年) No. 608



今月の主な内容

- 特集「防災」 2~7
- 町の家計簿を公表 8~9
- 食フェスタ in かるまい 10~11
- 紫葉襟菜さんがハンマー投で新記録 12

第31回町民体育祭のスタートを飾った、町内の園児約60人による駒踊り。ハートフルスポーツランドには元気な掛け声が響き渡り、体育祭を盛り上げました。

防 災



平成十一年十月二十八日
 時間雨量三〇^ミ、
 総雨量二三〇^ミという
 当時二百年に一度
 とも言われた大雨が
 町を襲った
 しかし近年
 一日で四〇〇^ミを
 超えるような豪雨が
 全国各地を襲っている
 災害から十年
 災害の恐ろしさを
 私たちは忘れては
 いないだろうか
 もしもの事態に備え
 防災についてもう一度
 考えてみませんか



①昭和橋に引っかかったゴミや流木により、川沿いの建物が大きな被害を受けた ②雪谷川上流の上河南地区でも住宅が浸水した ③雪谷川から溢れた水は、町中心部に大きな被害を与えた ④災害の後に残ったのは大量のゴミ。ゴミの処理には5億円もの費用がかかった

10.28豪雨災害の被害額

区分	人的被害と被害額
人的被害	1人
住家	46億2,176万円
非住家	1,350万円
農林関係	58億597万円 (58億1,047万円)
土木施設	54億8,000万円 (145億9,470万円)
庁舎等	(4,827万円)
社会福祉施設	1万円
学校施設	600万円
社会教育施設	3,248万円
医療衛生施設	2億3,037万円
観光施設	530万円
商工関係	11億810万円
合計	173億438万円 (264億7,095万円)

※()は岩手県の保有財産の被害額を足したものの

建物の被害

区分	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	合計
棟数	25	5	456	137	623

時間雨量と総雨量 (単位^ミ)

区分	雨量	備考
最大1時間雨量	30.5 ^ミ	10月28日 10:00～11:00
総雨量	230 ^ミ	10月27日20:00 ～28日16:00

年平均降水量 (単位^ミ)

軽米町	全国平均
1,004.4	1,714.0

(資料10・28豪雨災害復興誌)

Top Interview



事務所裏のがけ崩れた
 だごどではない
 雨だと思った

被災者
 のすけさん
 とみ富之助さん
 (向川原=81歳)

平成十一年十一月二十八日、大雨が降り続く中、わたしはいつも通りチャコールコア・軽米で働いていました。お昼休みを事務所取った時、ゴーという音とともに裏の崖が崩れ、土砂が建物を襲いました。その土砂崩れにより従業員の女性一人が重傷を負ってしまいました。予想外の出来事で、ただごとでない雨のすごさを感じ、私は従業員を午後から休ませ自分の家に向かいました。しかし雪谷川はすでに溢れました。昭と橋に木などが引っかかり川をせき止め、また裏の防里沢川から

の水もすく、すでに手をつけられない状態になっていました。富之助さんの妻コトさんは当時を次のように振り返ります
 「階段の半分まで水が」
 家で、こたつにあたり食用菊を片づけていたら、玄関から水が入ってきていました。すごい雨だとは思っていましたが、まさか家の中まで入ってくるとは思っていませんでした。外で飼っていた犬がワンワンと激しく鳴いていました。どうにもできず「許してける」と謝りながら私は急いで二階に上がりました。二階に上がって間もなく、水は階段の半分くらいまで上がってきました。水がどんどん増えてきた時は「おらは働けないしこのまま死んでもいい」と思ったことを覚えています。その晩はそのまま二階で一人で過しました。朝になって自衛隊のヘリコプターが救助にきました。私を含め避難勧告が聞こえなくて逃げ遅れた数人が、屋根の上からつるされてへりに助けられました。何もかも奪っていったあの水害。押し寄せる水の恐怖や不安な気持ちで過したあの夜のことを思い出すと涙が出ます。あのような思いはもうしたくありません。

chapter 1 災害

10・28豪雨災害 雪谷川が町を襲う

総雨量は二三〇^ミに

平成十一年十月二十八日、発達した低気圧の接近に伴う豪雨が町を襲いました。二十七日から降り始めた雨は、二十八日午前六時から七時には時間雨量二九・五^ミを記録。一時的に沈静化したものの、再び雨足を強め、同日午前十時から十一時は時間雨量三〇・五^ミに達し、町中の河川をはらんさせました。この豪雨による総雨量は二三〇^ミ。町の年平均降水量の、約四分の一の雨が一日で降った計算になります。この雨で雪谷川ダムが満水となり溢れ出し、水は急激に増水。流木やゴミなどが昭と橋に引っかかりダム状態になり、向川原地区をはじめ町中心部をあっという間に飲み込みました。

全国各地で異常な雨

当時二百年に一度とも言われた豪雨災害。しかし近年、それを上回る豪雨が全国各地を襲っています。本年七月二十一日には、山口県で一時間に九十^ミを超える記録的な大雨を記録。九月十一日には愛知県で一時間雨量百四十四^ミ、一日降水量四百二十八^ミを記録しました。想像をはるかに超える自然災害に備え、私たちは何をすればいいのでしょうか。次ページでは災害の備えについて考えます。

chapter 2
備え

**日ごろの備えと
地域のつながりが
被害を最小限に**

家族で災害に備える

これまでに体験したことのないような災害が町を襲った場合、消防や役場の機能が低下し、交通や通信手段も無くなる可能性が考えられます。そのような災害を考えた場合、一人ひとりが災害に備えておく必要があります。

そのためにまず、家族で避難場所や連絡先を確認しておくことが大切です。災害が起きたとき、家族が一緒にいるとは限りません。家族の安否が不安で家に駆けつけ、逆に被害にあってしまう可能性も考えられます。もしもの時はどこに避難するか、どこに連絡するかというのを確認しておくかなければなりません。また、災害に関する情報を、テレビや情報無線などで正確に聞き、家族で

Check1

非常持ち出し品を準備



飲料水 (1日一人3割を目安)
非常食 (調理が簡単で腹持ちする高カロリーのもの)
懐中電灯 (電池も用意する)
※その他に救急セット、携帯ラジオ、多機能ナイフ、使い捨てオムロンなどを用意しよう。

連絡を取り合うことも重要です。次に、非常持ち出し品を用意しておくことも大切です。大規模な災害では、水道や電気などのライフラインが中断し、食料などの流通が途絶えることがあります。飲料水や非常食、薬など、もしもの際に慌てないように用意しておきましょう。飲料水は一日一人三割を目安に備蓄します。また女性用の生理用品や常備薬は忘れがちなので、特に注意しましょう。

地域ぐるみで確認を

災害がおきたときにまっすぐに力を発揮するのは、その地域で暮らしている人たち同士の協力です。ふだんから地域ぐるみで防災に取り組んでいるところでは、実際に災害がおきたときにも被害が少ないといわれています。平成七年の阪神淡路大震災のときにも、多くの家が倒れ住民が下敷きになりました。そのとき消防隊や救急隊よりも近所の人に助けられた命がたくさんありました。「阪神・淡路大震災の統計」によると、被災者の約六割は近所の人に助けられています。このような教訓を生かし全国各地では自主防災組織が確立されてきました。

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分で守る」という地域住民の連携に基づき結成される防災組織です。十年前の水害でも、逃げ遅れて家の二階などで一晩過ごした人がいます。やはり地域ぐるみでお年寄りや体の不自由な人など、一人では逃げられない可能性のある人を助ける仕組みを作っていくかなければなりません。いざというときに備えてふだんから地域の人のつながりを深めておくとともに、地域ぐるみで防災を考えていくことが、被害を最小限に抑えるために重要になります。

INTERVIEW



**地域を守る
自主防災組織の
早期設立を**

災害の被害を抑えるためには、町民の危機管理が大切です。自主防災組織は「阪神・淡路大震災」をきっかけに全国各地で設立され、近隣市町村では、十年前の水害を契機に、二戸市金田一の舟沢地区で平成十七年に結成されました。私たち消防も全力を尽くしますが、町民のみならずにも、自分たちの地域は自分で守るという強い意志を持つてもらいたいです。そのためには自主防災組織の早期設立が重要だと思います。災害における救助者の割合からみても分かる通り、地域の力はとても大きいものです。あらゆる災害に備えるため、地域全体で要援護者の把握や災害時の行動などについて考えていきたいと思います。

二戸消防署軽米分署
しんいち
篠山信一分署長

INTERVIEW



**消防団を交えて
地域防災に
取り組んでほしい**

軽米町消防団
しんいち
増尾俊一 団長

大規模な河川改修により、雪谷川は大雨災害などにも対応できる予定にはなっています。しかし、温暖化や近年の異常気象などもあり、いつ何が起るか分からない状況にあります。また、町内では瀬月内川のはららんにによる被害も懸念されます。個人的には、費用がかかっても瀬月内川の大規模な改修が必要だと思います。町民の危険はもちろんですし、災害による農作物などの被害も計り知れないものがあります。河川改修などのハード面の強化も必要ですが、やはり皆さんが普段から危機感を持っておくことが大切です。家族の中で、もしもの時はどこ

に避難するかを確認しておきましょう。また、テレビや町からの情報を正確に聞き、早く行動をとってもらいたいのです。大丈夫だろうという安易な考えは危険で、行動が遅くなれば大変なことになりかねません。私たちの町は高齢化がとも進んでいます。地域で集まり、お年寄りなど一人で避難できない人の見守り体制や避難場所などを確認しておく必要があります。その際には、地域の防災に詳しい消防団や元消防団の人を中心に話し合うとよいでしょう。訓練などを通していろいろな知識を持っている団員と地域の人が一緒に取り組むことが重要です。また、町では団員の高齢化が進んでいます。団に入り災害に関する知識を身につければ地域でいろいろな行動ができます。若い人には積極的に入団し活躍してもらいたいです。十年前の水害の時は、町中心部はもちろん、各地区での被害も大きくなりました。想像を超える災害の場合、団も対応しきれない可能性がります。地域の皆さんの判断と行動は非常に大きいものです。町民の皆さんには情報収集と素早い行動を心がけてほしいし、そのために、災害が起る前に、地域で防災体制を作っておいてほしいと思います。

Check2

確認しよう！避難場所 (緊急時は下の地区割に関わらず近くの避難場所に避難してください)

行政区		避難場所	
下新町、上新町、元屋町、大町	軽米中学校屋内運動場	地区名	避難場所 (小中学校は屋内運動場)
仲町、本町、荒町	軽米町民体育館	円子	円子生活改善センター、円子小学校
蓮台野、桜山、門前	軽米小学校屋内運動場	小軽米	小軽米中学校、小軽米小学校
萩田	老人福祉センター	米田	米田農業構造改善センター
向川原*	軽米高校第1、第2体育館	笹渡	笹渡農業構造改善センター、笹渡小中学校
上館地区	上館農業構造改善センター	小玉川	小玉川生活改善センター
		長倉	長倉生活改善センター
		晴山	晴高小学校、晴山農業構造改善センター
		観音林	観音林小学校、晴山中学校
		山内	山内小学校、山内農業構造改善センター

*向川原地区は高台の一次避難場所に集合した後、軽米高校までバスにてお送りします

Check3

避難時の心得6つのポイント

- ①非常持ち出し品の事前準備を**
避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。
- ②安全な避難路の確認を**
避難場所までの経路(避難路)はあらかじめ自分たちで決めておきましょう。
- ③情報収集と自主的避難を**
ラジオ・テレビなどで情報を集めましょう。また危険を感じたら自主的に避難しましょう。
- ④避難の呼びかけに注意を**
役場や消防団から避難の呼びかけを従い、速やかに避難しましょう。
- ⑤避難する前に火元を確認**
電気、ガスなどを確認して避難しましょう。親戚や知人などに避難する旨伝えておきましょう。
- ⑥お年寄りなどの避難に協力を**
お年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。

未来

災害の教訓を 明日からに生かす



夢灯りinかるまい

1日も早い町の復興をーと、災害から2カ月半後の平成12年1月15日に行われた「夢灯りイン雪谷川」がはじまり。町内外のボランティアによって行われ、以後5年にわたり毎年2,000個を超えるキャンドルの点灯とともに復興へ向け被災者らが励まし合ってきた。復興と同時にイベントはなくなり、今回災害から10年の節目ということで5年ぶりの開催となった。

5年ぶりの夢灯り

災害から十年目の本年、十月十八日に五年ぶりとなる「夢灯りinかるまい」が昭和橋と報国橋の間の雪谷川河川敷で行われました。雪谷川復興十周年記念実行委員会（茶屋隆委員長）と多くのボランティアによって、約二千個のキャンドルが河川敷に並べられました。

この夢灯りは、災害から二カ月後の平成十二年一月十五日に、ボランティアの手で行われた「夢灯りイン雪谷川」が始まりで、その後復興が終わるまでの五年にわたり行われました。そして今回「災害から十年の復興を支えた大勢のボランティアへの感謝の気持ちと、皆で力を合わせて復興してきたという事実を忘れないために」という主催者の思いから、五年ぶりの開催となりました。ボランティアとして準備を行った工藤禮子さん（向川原）は「十年前の水害の際にはたくさんの人から力を貸り、元気をもらいました。感謝の気持ちで今回ボランティアに参加しました」と、キャンドルに火をともしていました。

約二千個のキャンドルが温かな光を放つ夢灯り会場。階段には、ハート型にキャンドルが並べられ、その

中には「10」の文字が浮かび上がりました。特設ステージでは、八戸市や軽米ソーランによるソーラン舞、マリンバやオカリナ演奏も行われ、集まった人たちは、災害のつらさや復興までの道のりを思い出しながら、美しい音色に耳を傾けていました。

勇気を無駄にしない

「災害は忘れたころにやってくる」ということわざがあるように、近年の異常気象や温暖化などにより、いつどのような災害が町を襲うか分かりません。災害が起きないのが一番ですが、私たちの力では、災害を止めることができません。私たちにできることは、あの災害の教訓を生かし、災害に備え被害を最小限に抑えることです。本年復活した夢灯りは、災害の怖さを思い出させることもあるかもしれませんが、人の温かさや勇気を持つて皆で取り組んだ復興までの道のりを思い出させてくれます。想像をはるかに超える災害が全国各地を襲う今日、あの水害、そして復興へ向けて取り組んだ勇気を無駄にしないために、もう一度防災について考えてみてはいかがでしょうか。

心を一つに 乗り越えた災害 風化させたくない

雪谷川復興10周年記念
実行委員会
委員長 茶屋 ^{たかし}隆さん



あの豪雨災害から今年で十年。「十年という節目だから何かやる」という思いから、雪谷川を守る会で一声かけたところ、町や町内の各団体などから協力を得ることができ、五年ぶりに夢灯りを開催することができました。

かつて経験したことのないような大雨に大きな被害を受けた町も、五年をかけてすばらしい雪谷川、そして向川原ニュータウンが完成し生まれ変わりました。その裏には、県内外からの温かいボランティア、国や県などからの支援などさまざまな協力がありました。また、町民と町とが力を合わせ復興に向けて一つになって頑張ってきたからこそ、今の町があると思います。私たちはそのことを忘れてはいけなしいし、災害の教訓をこれからの町づくりに生かしていかなければなりません。

あの水害をみんなが一つになり乗り越えたことに自信を持ち、協力すれば何でもできるんだという思いで、これからも町民と行政とが力を合わせ協働参画の町づくりを進めていければいいと思います。

豪雨災害を乗り越えて今の軽米があるという事実を風化させないためにも、これからも夢灯りを続けていければと思います。



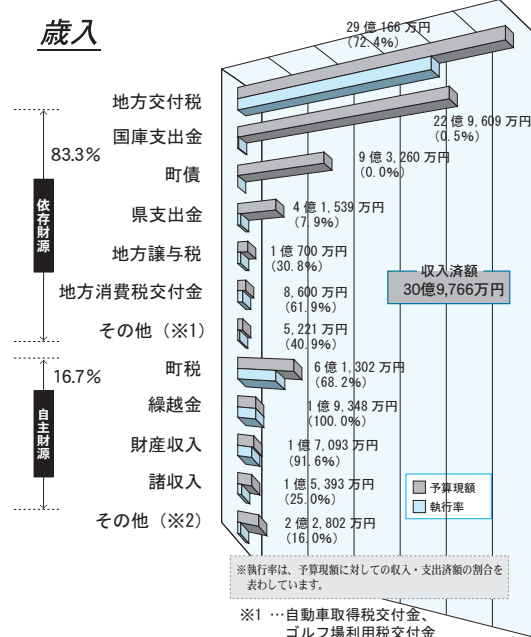
①復興とともに新しくなった昭和橋。キャンドルが温かな光を放ちます ②夢灯りの準備はボランティアにより行われました ③ジャズや楽器の演奏などが参加者の心を癒しました

町の家計簿を公表

町では、皆さんが納めている町税、国や県からの補助金、交付金などで賄われている町の予算について、一般会計などの収入と支出などの財政状況を一年のうち上半期（四月から九月まで）と下半期（三月末まで）の二回公表しています。今回は、平成二十一年度予算について平成二十一年九月三十日現在の執行状況をお知らせします。

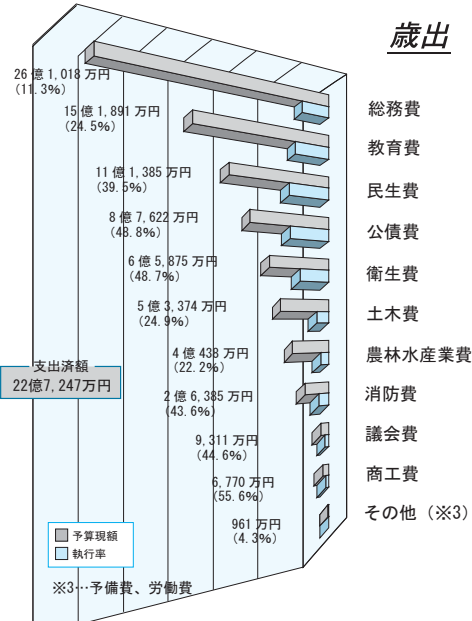
予算額は81億5,032万円

(平成21年9月30日現在)



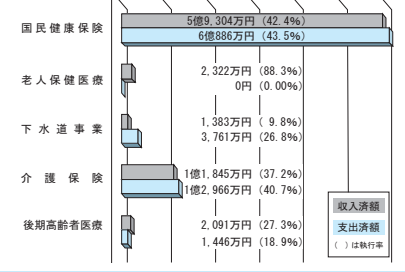
※1…自動車取得税交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金ほか
 ※2…分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入ほか

平成21年度の一般会計



※3…予備費、労働費

特別会計の執行状況



水道事業会計(収益的収支)の執行状況

科目	予算額	収入済額
水道料金	1億7,937万円	9,153万円
一般会計補助金	1億6,241万円	8,120万円
その他の収益	685万円	566万円
合計	3億4,863万円	1億7,840万円

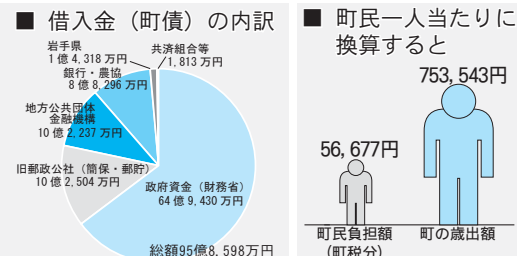
科目	予算額	支出済額
水をつくる費用	1億3,987万円	5,519万円
施設の減価償却	1億2,767万円	0円
借入金利息	6,159万円	3,113万円
その他の費用	750万円	0円
合計	3億3,663万円	8,632万円

平成20年度の給水原価は5.32円/㎡、販売単価は約27.4円/㎡
 ※給水原価…水道水を届けるために必要な費用
 販売単価…水道料金1立方メートルあたりの平均単価
 (不足分は一般会計からの繰入金で賄いました)

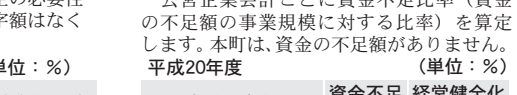
町が所有する財産の状況

(公有財産には水道事業を含む、平成21年9月30日現在)

公有財産	面積/数量	金額
土地	505万4,028㎡	
山林	286万9,780㎡	
建物	8万9,259㎡	
無体財産(商標権)	7件	
出資による権利	2億1,240万円	
有価証券	5,163万円	
貸付金	3,086万円	
基金	74万9,562㎡	
基金残高	12億1,571万円	



町民一人当たり換算すると



健全化判断比率の公表

財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を、4つの指標から客観的に判断します。本町は赤字額はなく実質公債費比率は微増、将来負担率は減少しました。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
軽米町の比率	-	-	15.7(14.5)	120.9(138.2)
県内市町村平均	-	-	17.0(17.4)	128.7(144.8)
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

※赤字額がない場合は「-」を記載している。()は前年度比率

資金不足比率の公表

公営企業会計ごとに資金不足比率(資金の不足額の事業規模に対する比率)を算定します。本町は、資金の不足額がありません。

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0

※資金不足額がない場合は、「-」を記載している

財政用語ミニ辞典

早期健全化基準：地方公共団体の財政状況が悪化した場合、自主的かつ計画的にその財政の健全化を図るべき基準として政令で定める数値
 経営健全化基準：公営企業の経営の健全化を図るべき基準として政令で定める数値

実質赤字比率：一般会計等を対象とした実質赤字額の比率
 連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字額または資金不足額の比率
 実質公債費比率：一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の比率
 将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の比率
 ※上記は全て、標準財政規模(一般財源の標準規模を示すもの)に対する比率

●補正予算第1号【第18回臨時会】
 二百十万円を増額措置しました。主な内容は、県営農業農村整備事業計画調査負担金二百万円、岩手県ことはを育む親の会大会開催補助金十万円です。

●補正予算第2号【第20回定例会】
 五億千八百一十万円を増額措置しました。主な内容は、財政調整基金への積み立てが九千七百万円、国の補正予算に伴う地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(町道・体育施設修繕事業、旧小学校解体事業等)二億四千二百二十九万円などです。

●補正予算第3号【第21回臨時会】
 千六百三十九万円を増額措置しました。主な内容は、緊急

●補正予算第4号【第22回定例会】
 二十億六千四百八十二万円を増額措置しました。主な内容は、特別養護老人ホームの移管に伴う人事異動による給与費三千六百四十四万円、地域活性化・公共投資臨時交付金事業(軽米町情報通信基盤整備事業、小中学校太陽光発電施設整備事業、軽米中学校武道場整備事業等)十九億五千二百九十九万円などです。

☆予算の執行状況
 九月三十日現在、歳入予算の執行率は予算額に対して、三八・〇%(昨年同期四七・五%)、歳出予算の執行率は、予算額に対して二七・九%(昨年同期三四・〇%)となっております。詳しくは、各グラフをご参照ください

☆一般会計の補正措置
 当初より約26億円の増額

●一般会計
 平成二十一年度の一般会計予算は、当初五億四千九百万円をスタートしました。上半期で四回の補正を行い、二十六億三千二百万円を増額し、総額は八十一億五千三十二万円となりました。

急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業千六百三十九万円です。



①野菜の販売を通して話がはずみます ②会場には郷土食や雑穀料理など、軽米の食がたくさん集まりました ③多くの人でにぎわったオープニングの景品付き餅まき ④中央公民館では県国際交流協会の呉光玉さん（中国）が講師となって料理教室が行われました ⑤IBCじゃじゃじゃTVのリポーター千葉星子さん（左から2人目）が司会を務めました



55.9mの裏巻き寿司

五穀にちなんで55.9mの長さに作られた裏巻寿司。ヒエ、アワ、キビ、アマランサス入りのご飯の上にノリを敷き、その上に具材を乗せて作ります（写真は裏巻きを巻き上げ、完成を喜ぶ参加者）

軽米の食が大集合

食フェスタinかるまいは十月二十五日、町物産交流館を主会場に開催されました。食にこだわり、町内の十一団体が郷土食や雑穀料理などを展開。雑穀入りご飯を使った「裏巻き寿司作り」には町内外から総勢百三十六人が参加し、五十五・九メートルの裏巻き寿司作り挑戦しました。

郷土食テント村で
軽米の食を味わう

食にこだわり産業を広く紹介する「食フェスタinかるまい」。オープニングセレモニーでは、山本賢一町長が「軽米は農業が基幹産業の町。食産業に力を入れるとともに、第二、第三次産業にも発展させていきたい」とあいさつしました。

会場の町物産交流館には郷土食テント村が設けられ、町内の六団体がひつまやせんべい汁などの郷土料理のほか、エゴマ入りカリントウや雑穀入りピザ、雑穀コロケなど、雑穀を使った料理も披露され、訪れた多くの人が軽米の食を味わいました。また地産テント村では、町内産の牛肉やにんにく、ポッチャン

カボチャなどの販売が行われました。

中央公民館大ホールでは、財団法人岩手県国際交流協会主催の外国人との交流会「ちやっとランド」が開催されました。県国際交流員の呉光玉さん（中国）が講師となり、もち米を使った肉団子やアワを使ったスープ作りが行われ、町内外から二十二人が参加しました。参加者らは、もち米や雑穀の新たな使い方を知り感心していました。

みんなで作り上げた
五十五・九メートルの寿司

今回で三回目となる五十五・九メートルの裏巻き寿司作りは、物産交流館近くの雪谷川沿いの路上で行われました。町民のほか、パルシステ

ム組合員や姉妹町である音更町の職員ら合わせて百三十六人が参加。盛岡市の寿司店「山留」（吉津賢次郎代表）の吉津賢次郎さんの指導のもと、ヒエ、アワ、キビ、アマランサス入りの五穀ご飯の上のりをしき、町内産のしいたけやホウレンソウなどの具材をのせていきました。具材をのせた後は、最も気を使う巻き込み作業。参加者らは吉津さんの声に合わせて、ご飯と具材をいっせいに巻き上げ、折れないように慎重に持ち上げ完成を喜びました。

物産交流館前では、軽トラの上で衣類や野菜、花などを販売する軽トラ市や商工会青年部によるソバの早食い大会なども開かれ、会場は多くの人でにぎわいました。

食フェスタに合わせて、JA新いわて軽米地区担当課前では畜産共進会が行われ、出品された四十六頭の黒毛和種と十四頭の馬に、生産者や審査員から熱い視線が注がれました。アトラクションでは、軽米牛が景品の長靴飛ばし大会も行われ、会場は盛り上がりを見せました。

INTERVIEW



後藤知里さん、瑞季ちゃん、康仁さん（埼玉県）
初めて軽米に来ました。噂に聞いていたせんべい汁を食べることができました。とてもおいしかったです。裏巻き寿司はみんなの息を合わせるのが大変でしたがとても楽しかったです。



長谷川陽子さん（高清水）
チラシを見たら、50メートルを超える寿司を作ると書いていて、ぜひやってみようと思い参加しました。隣にいたりおぼあちゃんとお話をしながら作ることができました。

中学生2人がJOCジュニアオリンピックカップに出場します

かおり
中里香織さん (軽米中3年)

りょうま
小笠原涼馬君 (晴山中2年)

日本一を目指し全力でプレーしたい

1つでも多く勝ちたくさん試合したい



全国大会は
12月24～28日まで
大阪市中央体育館等で
行われます

軽米中学校3年の中里香織さんが中学校バレーボールの岩手選抜に選ばれました。本年1月に県内から約50人が選出され、合同練習や試合を通して12人が残りました。中里さんは、身長176センチ、最高到達点272センチの高さから打ち落とすスパイクとブロックが持ち味。「Aクイックなどの早い攻撃に力を入れ、日本一を目指して全力でプレーしたい」と全国大会への意気込みを話していました。



全国大会は
11月13～15日まで
広島県立総合体育館で
行われます

晴山中学校卓球部の小笠原涼馬君が、9月23日に花巻市総合体育館で行われた、県卓球選手権大会兼全日本予選会の14歳以下シングルスで準優勝をしました。「全国大会への切符は3つ。絶対にとってやる」との思いで臨んだと話すと小笠原君。接戦となった準決勝は「最後まであきらめなかったから勝てた」と見事勝利勝ち決勝へ。決勝では惜しくも負けてしまったものの見事全国への切符を手に入れました。

※JOCジュニアオリンピックカップとは？
日本オリンピック委員会（JOC）後援による、小中学生中心のスポーツ大会。未来のオリンピック選手育成を目的に1992年から各連盟主催で行われている。

秋の軽米路を駆け抜ける第二十七回町内ロードレース大会が、十月十四日に開催されました。大会には小学校一年生から最高齢八十五歳まで二百六十人（町内参加者は五十六人）のランナーが参加。沿道で観客が見守るなか、日々の練習で鍛えた健脚を競い合いました。町内参加者の上位入賞者と、優秀選手賞を受賞した選手は次のとおりです。



沿道で観客が見守るなかスタートを切った5キロ、10キロの部

町内参加者の記録（出身者含む）

各上位6位までの入賞者（○に数字は順位、敬称略）

【10kmの部】

- ▶一般男子30歳～39歳
 - ②松山洋介（上増子内） 35分10秒
 - ④上山誠（東） 35分53秒
- ▶一般男子60歳以上
 - ④山下清策（竹谷袋） 45分28秒

【5kmの部】

- ▶高校生男子
 - ②神久保知希（観音林東） 19分51秒
 - ③神久保翔也（同上） 20分42秒
- ▶一般女子29歳以下
 - ④ジャニオン・ビドミード（町AL T） 25分02秒

【3kmの部】

- ▶中学生男子
 - ③鶴飼雄大（笹渡中2年） 11分04秒
 - ⑥上山友裕（晴山中1年） 11分20秒
- ▶小学生男子
 - ③圃田洋貴（小軽米小6年） 12分26秒
 - ④内澤宏太（軽米ミニバス） 12分30秒
 - ⑤澤尻雄飛（同上） 12分34秒
- ▶小学生女子
 - ②鶴飼梓（笹渡小6年） 11分48秒
 - ⑥山崎実穂（笹渡小5年） 14分04秒

【優秀選手賞】

田代金蔵（駒板、73歳）、若山元気（軽米ミニバス）、仲條菜（軽米小1年）

秋の陽射しを背に受け力走

岩手県民体育大会少年女子ハンマー投

県新記録・県高校新記録・大会新記録で優勝

Eina Shiba



重さ四キのハンマーを、いかに遠くへ投げられるかを競うハンマー投。軽米高校三年の紫葉襟菜さんは、七月十二日に岩手県営運動公園陸上競技場で行われた第六十一回県民体育大会兼国体選手選考会のハンマー投で、三六・七〇センチの記録を出し、県新記録、県高校新記録、大会新記録の三つの記録を更新し見事優勝しました。

二年生のころから練習では県記録を超える記録を出してきたものの大会で記録を出せなかった襟菜さん。毎日同じ記録を出せるようコーチに言われたことをしっかりと直し、また筋力アップに力を入れてきました。

コーチの市橋保男さんには「二年もやってきてまだ分かんないのか」と怒られ、泣き、嫌になったこともあったといいます。そんなつらい時も乗り越え、本大会では、一投目で県高校記録、大会記録を更新。最後の一投で県記録を更新しました。襟菜さんは「新記録を出せてコーチに少し恩返しできた。コーチが前教えていた山田さんの記録を超えてよかった」と笑顔で話していました。

高校三年間の陸上生活を終えた襟菜さんは、卒業後も陸上競技を続けたいと話します。目標は七年後の岩手国体。これからの襟菜さんの挑戦は続きます。

INTERVIEW



コーチ
市橋保男さん
(二戸市)

縁あって中学3年生の時から投てきの指導をしてきました。後輩の面倒見もよく、大会では他の選手とすぐに友だちになりアドバイスまでしてしまうほど、とてもいい子でした。言ったことは必ずこなし、練習では2年生くらいから40メートルを超す記録も出していました。やり投げに関しても全国に通用する力を持っています。これからも努力を続けていってもらいたいです。そしてたまに声を掛けてください。



前高校記録保持者
山田真澄さん
(二戸市)

彼女が中学校の時、私の高校時代のコーチでもある市橋さんは「力はあるんだけど大会で記録が出ないんだよ」と話していました。でも彼女ならやってくれようと思っていました。新記録はある意味予想通りです。新聞などの記録保持者の欄に自分の名前がなくなるのは少し寂しいですが、同じコーチに教わった子が記録を破ってくれたのはうれしいです。これからは頑張って続けていってもらいたいです。

従前の各記録 (敬称略)	県記録 県高校記録 大会記録	及川千夏 山田真澄 紫葉襟菜	36m61 (2001年) 35m78 (1994年) 34m52 (2008年)
-----------------	----------------------	----------------------	---

えりな
紫葉 襟菜さん
(軽米高校3年、上晴山)

山内が3連覇

第三十一回町総合体育大会(以下「町総体」)の最終種目となる、町民体育祭第三十一回大会が十月十一日にハートフル・スポーツランド多目的広場で行われ、山内チームが優勝を飾りました。山内チームは、町総合体育大会で三年連続十七度の総合優勝にも輝きました。

町内から十二チーム、総勢六百人が参加した町民体育祭、むかでリレーや物干し竿リレー、綱引きなどの全八種目で競われました。最終競技種目の世代をつなぐ年代別リ



町民体育祭と町総体総合優勝のダブル優勝を喜ぶ山内チームの皆さん

レーには、小学生から六十歳以上の人まで、各地区の代表選手が出場。一チーム十五人の選手が最後までバトンをつなぎました。各チームの陣地では応援に駆けつけた地域住民からの大きな声援も響き、選手とともに体育祭を楽しみました。

また、昨年十一月十六日のバレーボール競技に始まった第三十一回町総合体育大会は、体育祭を終え全六種目を終了しました。卓球、軟式野球、体育祭と三種目で一位を飾った山内チームが、三年連続十七度目の優勝を果たしました。また、体育祭で二位の小玉川チームが、順位を四つ上げ町総体準優勝を果たしました。

第31回町総体最終順位

総合順位	チーム名	総得点	町民体育祭順位
優勝	山内	182	優勝
2	小玉川	176	2
3	円子	167	3
4	笹渡	162	4
5	小軽米	156	5
6	晴高	146	8
7	観音林	143	6
8	米田	135	11
9	上館連合	125	9
10	増子内	106	10
11	下新町	101	7
12	向川原	77	12
13	上新町	66	-
14	軽米東	39.6	-
15	軽米中央	32.5	-
16	長倉・駒木	16	-

第24回町民健康まつり 体調チェックは忘れずに

第二十四回町民健康まつりは、町民体育祭に合わせ、ハートフル・スポーツランド多目的広場で開催されました。



転倒予防コーナーでは健脚度測定が行われました

会場には、健康に関するさまざまなコーナーが設けられました。県看護協会三戸地区支部による健康チェックコーナーでは、血圧や体脂肪、メタボ度などをチェック、県理学・作業療法士会による転倒予防コーナーでは、いつまでも元気を保つための健脚度測定・評価・指導などが行われました。町民体育祭の競技の間には、ウォーキング教室やほつらつ運動推進員によるリズム体操なども行われ、参加者らは効果的な体の動かし方や、健康に関する知識を深めていました。



2連覇を達成し喜ぶ軽米ベアーズナイン

軽米ベアーズ 2年連続優勝

第十二回町学童野球秋季交流大会が十月十二日にハートフル球場で行われ、軽米ベアーズが二連覇を達成しました。決勝戦では観音林学童野球団に対し、強力打線と機動力を生かした攻撃で十九点を奪い勝利しました。観音林学童野球団が準優勝、小軽米ファイヤーズと山内ホームランズが三位となりました。

またベアーズは、十月十日から十一日にかけて山形県で行われた第十一回シングルA野球選手権山形大会に出場し、予選リーグを二位で通過し六位と健闘しました。

最後の学習発表会

思いを乗せて

本年度で閉校となる、山内、観音林、晴高小学校の最後の学習発表会が十月二十四日と三十一日、各校で行われました。どの学校も、最後の発表会ということで学校への思いを乗せ練習の成果を披露していました。

十月二十四日に行われた山内小学校(菊地孝校長、児童三十六人)の学習発表会は、山内神楽の勇壮な舞でスタート。保護者や地域住民など約七十人が訪れ、クラスごとに発表された劇や踊り、合奏などを楽しみました。全校児童による合唱では「地球賛歌」



美しいハーモニーを披露した山内小児童

など二曲を披露。美しいハーモニーが響き渡りました。十月三十一日には観音林小学校(吉住俊子校長、児童四十九人)と晴高小学校(遠藤修校長、児童三十三人)で学習発表会が行われました。観音林小では「とどげよう感動を! 気持ち伝わる歌と劇」をスローガンに全校児童がひとつになり練習の成果を発表しました。発表会の最後は、観音林小伝統の「観小ちから太鼓」を力強く披露。訪れた約八十人の観客からは大きな拍手が送られました。

晴高小では、保護者や地域住民ら約六十人が観覧。「とどげぼたちの思い、最後の学習発表会」というテーマの表情を見せていました。



伝統の観小力太鼓を披露する観音林小



気持ちを込めて群読する晴高小児童

第26回グリーンデー

枝打ち作業に ボランティア百人

第二十六回グリーンデーは十月三日、町有林向川原事業区で行われました。観音林小学校自然愛護少年団の十六人と小軽米小学校自然愛護少年団の三十二人の他、一般ボランティアなど合わせて約百人が参加。約一畝にわたって、杉の木の枝打ちが行われました。参加者らは、ノコギリやナタを手に約一・五メートルの高さまでにある枝を一本ずつ切っていました。木田茉佑さん(小軽米小六年)は



小軽米小学校自然愛護少年団



観音林小学校自然愛護少年団

「切るのが難しかったけどコツを教えてもらったら簡単にできた。今のまま緑がいっぱいの町が続いてほしい」と話し、小笠原運君(観音林小六年)は、「二回目の参加で去年よりたくさん切れた。これからもボランティア活動に参加していきたい」と話していました。今回の枝打ち作業は、節のない樹木育成のために、昨年度に続いて同地区で行われました。

松井慶太さんが軽米中で合唱指導 プロ指揮者が歌のコツ伝える



声の出し方や歌詞をイメージすることの大切さを指導した松井慶太さん（左）

八戸市出身のプロ指揮者松井慶太さんは十月九日、軽米中学校（古館英彦校長、生徒百七十三人）を訪れ、全校生徒に合唱指導を行いました。松井さんは、声の出し方や強弱について曲の途中で何度も止めながら丁寧に指導。三年生の小笠原悠さんは「歌詞をよく考え、イメージして歌うことの大切さが分かった」と話していました。

今回の指導は三年生が修学旅行の際に、松井さんから合唱指導を受けたことがきっかけで実現しました。

はつらつ運動推進員養成講座 介護予防活動での活躍に期待

はつらつ運動推進員養成講座は、運動を取り入れた介護予防を支援するボランティアの育成を図る目的で全六回にわたり開催されてきました。九月二十八日には健康ふれあいセンターで最終講座が行われ、花の里かるまいの東山純作業療法士によるリズム体操の指導が行われました。講義や実技を通して介護予防法を学んだ佐藤勝子さん（本町）は「地域の皆さんや自分の健康のためにもさまざまな活動に参加していきたい」と、今後の活躍を誓いました。



花の里かるまいの東山さん（左）の指導のもと、介護予防につながる体操を学ぶ受講者

未来の農業担い手育成事業 作った人に感謝して食べたい



町内産ホウレンソウを使った給食をおいしそうに食べる児童

笹渡小学校（鎌田省三校長、児童三十二人）の三、四年生二十二人は九月二十八日、町内産のホウレンソウとネギを使った給食試食会を行いました。試食会には、生産者や農業関係者ら十六人も出席。児童らは生産の苦労話などについて話を聞きながらホウレンソウ・キャベツのごま和えや芋の子汁などを食べました。高柳雄朔君（六年）は「どちらもおいしかった。ホウレンソウ作りは大変だと思ったので、作った人に感謝して食べたい」と話していました。

晴高小で点字学習と交流会 点字体験を通して障害を学ぶ

晴高小学校（遠藤修校長、児童三十三人）の三、四年生十三人は九月二十九日、古館吉弘さん（門前）を招いて点字学習と交流会を行いました。児童らは、古館さんの点字を打つ早さに驚きながらも、五十音や自分の名前などを打って点字を体験。交流会では七歳から目が見えない話を興味深めに聞いていました。刈谷玲奈さん（四年）は「点字を覚えることができたし、とても勉強になった」と話していました。



打った点字が正しいかどうか、古館さん（右）に確認してもらいました

高齢求職者対象の食品加工講習 8日間さまざまな料理に挑戦

社団法人県シルバー人材センター連合会主催の食品加工講習が、十月二十日から二十九日まで町老人福祉センターで行われました。六十歳前半を中心とする高齢求職者を対象に行われ、町内から二十人が参加。参加者は食の技研究会（関向玲子会長）の指導のもと、雑穀を使った郷土食や魚の燻製加工、そば打ちなど約十五品を調理。初めて参加した鶴飼節子さん（蓮台野）は「いろいろな料理が作れて楽しく勉強できた」と、調理を楽しんでいました。



食の技研究会の指導を受けだまっこ汁作りに挑戦する参加者（10月23日）

山内小学校で高齢者疑似体験 お年寄りの大変さを体で実感



特殊な眼鏡で高齢者の見え方を体験する児童

山内小学校（菊地孝校長、児童三十六人）の五、六年生九人は十月十三日、町社会福祉協議会の内澤正明さんを講師に高齢者疑似体験を行いました。児童らは手足におもりを着け、視界を妨げる特殊な眼鏡を付けるなどしてお年寄りを体験。眼鏡をつけて教科書を読む体験では、なかなか字が読めずに苦労していました。田館悠綺さん（六年）は「歩くのも、字を読むのも大変だった。お年寄りの気持ちが分かった」と大変さを実感していました。

昭和60年10月31日姉妹提携 音更町だより

町体育協会主催による町民えんそくが十勝エコロジーパークで行われました。参加した31人は魚道観察室を出発地点に、それぞれ3.5kmと7kmのコースに挑戦。秋晴れの下、景色や会話を楽しみながら、ゴールを目指して心地よい汗を流していました。



青空の下で楽しく歩く参加者たち

丈夫に
育つ

元気に
働く

健やかに
老いる

地域包括支援センター
主任介護支援専門員
内城 良子

住み慣れた家で在宅サービスを上手に利用してみませんか？

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすためにさまざまな介護サービスがあります。地域包括支援センターでは、高齢者や家族、地域住民からの総合的な介護や福祉に関する相談や支援を行っています。その中で多いのが、「家で介護できないので施設を探して欲しい」という相談です。さまざまな事情があり施設を希望されると思いますが、自分が介護される状況となったときを考えると、自分の家でできる限り生活したいと思うのではないのでしょうか。

自宅で在宅サービスを組み入れ生活する場合、施設入所と比べ料金も安くなります。また、在宅サービスを利用される方が多くなれば、新たに便利なサービスも増えてくると考えます。本人の今の生き方や生活を振り返り本人とも相談し、介護サービスを検討してみたいかがでしょう。

図書館だより

－ 今月の新刊 －

【児童書】

きいてみよう しんぞうのおと

作 ポール・シャワーズ
絵 ホリー・ケラー
訳 ほそやりょうた

ひだりむねにポール紙の筒の聴診器をあて、心臓の音を聴いてみよう。子どもたちを「かがく」の世界に案内する絵本。



(福音館書店)

ルルとララのスイートポテト

作 あんびるやすこ

かけっこが早いアライグマのサリーは森の運動会で大活躍。今度は森のコンサートで歌を歌うことになった。ところが歌に自信のないサリーは悩んでしま...



(岩崎書店)

【一般書】

干支の切り紙

著 大原まゆみ



(誠文堂新光社)

干支に登場する12の動物をモチーフにした切り紙の作品集。知っておきたい切り紙の基本のほか、干支の物語や意味、由来も掲載。

母と子の絆

著 石川結貴

どちらも互いのことを思いながら、うまく言えない母と子。形にできない、言葉にならない思いをたくした10編のものがたり。



(洋泉社)

図書館ひろば

- ◎日時：11月28日(土) 10:00～11:00
 - ◎会場：旧生活文化博物館(町立図書館となり)
 - ◎対象：幼児～小学校低学年
- 参加をお待ちしています

生活安全の森

配偶者暴力やストーカーでお悩みの方へ

◎女性に対する暴力をなくす運動
平成二十一年十一月十二日から十一月二十五日まで
☆ひとりで悩んでいませんか？
配偶者暴力やストーカーの被害者の方は、相手が夫や交際相手等の身近な人のため、相談しにくい、相談した後の返しが怖い等の理由から一

人で悩んでいる方も多いと思います。我慢せずに早めの相談をお勧めします。
☆警察の対応
被害者の意思を尊重しながら検挙していきます。処罰を希望しない場合は、具体的に被害を防止するための助言指導、他の相談機関と連携し

9月の事故と救急の数字

※(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶町内の交通事故	当月(累計)	昨年度
人身事故	1件(10件)	+2
死亡者	1人(1人)	±0
負傷者	0人(9人)	+1
物損事故	6件(70件)	-1
▶救急車の出動回数	22回(253回)	-3
▶飲酒運転検挙者はありません		

ての支援・援助、相手方に対する警告などを行っています。



一戸警察署軽米駐在所
(電話四六二〇〇四)

戸籍の豆知識

年金

医療

名前の変更

名前は、やむをえない事情がある場合には家庭裁判所の許可を得て変更することが出来ます。やむをえない事情とは、例えば有名人などと同名同姓や似た名前でごまかされたりして困っている場合や、異性と間違われやすい場合、神官や出家して僧侶になった場合、結婚などで家族と同名同姓になった場合などがあります。他にもさまざまな場合が考えられますが、状況に応じて家庭裁判所に名前の変更の申し出をして、許可をもらってから役場に届けることになります。

実際に名前が変わると保険証や年金手帳、各種医療受給者証なども変更になりますので手続きの際には役場にお持ちください。

【問い合わせ先】

役場町民生活課・総合窓口グループ(46-4735)

10月1日新たなスタートを切った特別養護老人ホームいちい荘



いちい荘のあゆみ

- 昭51.5.1 二戸地区広域行政事務組合立として開所
運営は町、定員50床、短期4床
- 昭61.4.1 デイホーム事業開始
- 平5.2.1 短期利用12床とする(特養分は50床)
- 平12.4.1 介護保険事業開始
二戸地区広域行政事務組合より建物と付帯設備の無償譲渡を受ける。
指定介護福祉施設、指定短期入所生活介護サービス事業所の指定を受ける。
- 平18.4.1 指定介護予防短期入所生活介護サービス事業所の指定を受ける
- 平21.10.1 民営化により経営が町から町社会福祉協議会となる。
建物と設備備品の無償譲渡を受ける。

町の特別養護老人ホームいちい荘が、十月一日から社会福祉法人軽米町社会福祉協議会(菅原皓文会長)へ移管されました。
十月五日には、同施設で入所者や家族、職員など約七十人が参加して開所式が行われました。菅原会長は「県内で唯一社協が運営する老人ホーム。開所の喜びとともに職責の重大さに身の引き締まる思いだ。質の高い介護サービスを提供できるよう一丸となって努力

し、利用者、家族、町民の皆さんから、移管してよかったですといわれるような施設にしていきたい」とあいさつしました。また、山本町長は「町民による、町民のための施設を目指し努力していてもいい。町としてもしっかりサポートしていきたい」と激励しました。
社会福祉協議会への移管により、元同協議会事務局長の清水良治さんが所長に就任しました。

特別養護老人ホームいちい荘 町社会福祉協議会に移管



町職員の人事異動のお知らせ(敬称略)

- 【派遣】平成21年9月30日付
総務課(総務課付・社会福祉協議会へ派遣)
山本幸子、小林弘子、日山愛子、鎌田愛子、平船シズエ、杉浦謙二、下斗米敏、梅木久美子
- 【異動】平成21年10月1日付
健康福祉課(いちい荘より異動)
藤田美枝子、藤嶋百合子
地域整備課(いちい荘より)
村山克彦
健康ふれあいセンター(いちい荘より)
外川愛子
- 【退職】平成21年9月30日付
西山隆介(特別養護老人ホームいちい荘所長)
尾田川桂司(小軽米出張所)

いちい荘に タオルなど寄贈

町民生児童委員協議会(上岩恵美子会長)の高齢者部会の部員四人は十月二十日、特別養護老人ホームいちい荘を訪れ、タオル六十四本と部員の下谷地芳雄さん(下谷地渡)が作った紙飾りを寄贈しました。今回の寄贈は、部員の自宅で作られたもので、を集め、施設で有効活用してもらいたいという思いで行われました。



入所者にタオルを手渡す部員の山下勇さん(左)



のぞみ 望さん
(24歳、河北)
身長157^{センチ}、血液型A型

洋服を仕入れる 仕事に 挑戦してみたい

Q、仕事は何をしていますか？
二戸市のアウトレットカジュアルA&P」という服屋さんで働いています。ファッションに興味があり、一度は服屋さんで働いてみたいと思っていました。
Q、仕事をしてみようですか？
好きなジャンルじゃない服にだんだん愛着がわいてくるのが少し怖いですが、今までよりはファッションセンスがよくなったかなあと 생각합니다。まだまだ未熟で上司には言えませんが、トップスのバイヤー（仕入れ担当）をやってみようかと。

Q、自分の性格を一言で言つと？
楽道家。熱しやすく、冷めにくいです。
Q、町に望むことは？
二十四時間営業のガソリンスタンドがあればいいですね。あとビッククアーティストを呼んでライブをやってもらいたいです。

▼好きなスポーツ：ビリヤード、スノーボード、ポディボード、小学生の野球観戦
▼好きな色：ショッキングピンク
▼好きな食べ物：冷麺、ナシゴレン
▼今欲しい物：スノーボードの板
▼理想の異性のタイプ：笑いのツボが似ていて、バカ笑いしあえる人。食べ放題に行っても気兼ねしない人。芸能人で言うと渡辺謙さんや反町隆史さんみたいな雰囲気の人タイプです。

笑顔あつまれ！ みんなの広場

今月の俳句 (北光吟社 九月例会)

ひと夏をいきいきクラブでいきいきと
千菴紅園
台風の子報にもぎし早生りんご
瑞川石造
古の人も愛でしや初紅葉
丹下美恵子
風に揺れ青空映る芋の露
中田紀子

雑穀のサミット宣言爽やかに
松村英子
秋刀魚焼き老の二人の夕餉かな
中野とき
茶山子にも笑顔で応う稲田道
早川慶子
雨音に虫の鳴き声消えにけり
川島由蔵
名月や澄める中天一人じめ
三上千栄女



プロフィール
【氏名】 Janine Bidmead
(ジャニン・ビドミード)
【国籍】 イングランド
【略歴】 シェフィールド大学卒、2008年8月4日に町の英語指導助手として着任。

フミコのお返事

Fumiko: Janine, it's starting to get cold now, are you ready for winter?
文字：ジャニン、寒くなってきたけど冬の準備は大丈夫？
Janine: I hope so! I'm excited to start snowboarding again! I have already seen some snow.
ジャニン：まあね。またスノーボードができるかと思うと、うれしいわ。私は、もうすでに雪を見たのよ。
Fumiko: Really? How come?
文字：本当？ どうして？

Janine: 2 weeks ago I climbed Iwate-san! When we climbed the mountain to the cabin it was sunny and nice weather. Then we slept at the cabin. When we woke up at 4am to climb to the top to see the sunrise, there was a big snow storm! It was the 1st snowfall in Iwate this year! It was very very cold, and we couldn't see the sunrise. But then we came back to the cabin and the weather was sunny again so we could see many beautiful views of Iwate.

ジャニン：2週間前、岩手山に登ったの。途中の山小屋についたときは、日も照ってて、いい天気だったの。私たちはそれから、その山小屋で寝て、頂上で日の出を見るために明け方4時に起きて登ろうとしたら、大吹雪だったの。今年度の岩手県の初雪だったのよ。とっても寒くて、日の出も見れなかったわ。山小屋まで戻ってきたら、またお日様が照り出したから、岩手のきれいな景色をたくさん楽しむことができたの。

Fumiko: Have you been to any festivals recently?
文字：最近どこかのお祭りに行った？
Janine: Yes, I went to the garlic festival in Takko, and Karumai High School Culture festival. I really enjoyed them both! The haunted house at Karumai High School festival was very scary!!
ジャニン：ええ、田子町のにんにく祭りや、軽米高校の文化祭に行ってきたわ。どちらも本当に楽しかった。軽米高校のお化け屋敷は本当に怖かったわ。

夢・希望・えんぴつ

県大会出場を目指して

僕は野球部に所属し、チームが掲げる「二球入魂」を胸に、この半年間先輩や仲間とともに練習に励んできました。九月に行われた地区新人戦では、僕はレギュラーとして試合に臨むことができました。

この大会で僕には目標がありました。中総体で敗れた三年生の悔しい思いを果たすこと、そしてチームの役に立てるプレーをすることでした。一回戦、二回戦、準決勝と勝ち進みましたが、決勝戦では四対〇という結果で負けてしまいました。当日はいいいな



晴山中学校 1年(横浜)
横島 諒くん

軽米の 埋もれし宝 縄文人の道具 石の狩猟具



矢の先に付けて飛ばした石鏃(右)とナイフとして使われた石匙
(写真：町歴史民俗資料館蔵)

前号まで縄文・続縄文(古墳)時代の様子や土器を中心にながめてきたが、次にこの頃のものな道具や習俗を紹介しよう。
縄文土器と一緒に、町内でもよく発見されるのは、硬い石を細かく叩いたり擦ったりして形を整えた石器です。縄文人は火を燃やして土を固め土器を作る技を発明しましたが、高温で鉄を溶かし鉄器を作り出すことまでは知り

ませんでした。そんな彼らにとって、川原石や山から掘り出した様々な礫から作られる鋭利な石器は、狩りや木の伐採、道具の加工など、様々な用途に利用され、生活を便利に豊かにしました。
中でも三角形の尖った先を持つ小さな「石鏃」は、シカやイノシシなどの動物を射る矢の先端に付けられるため、大量に発見されています。また、やや大型で槍の先に付ける「石槍」も出土しています。

捕まえた動物は万能ナイフである「石匙」などで皮を剥ぎ、肉を切り解体されます。石匙にはつまみ状の突起があり、ここを紐で結んで狩りの際にも携帯していたと考えられています。集落に持ち帰られた肉は、焚き火で焼いたり薫製にしたり、または石器で煮込んだりして集落の人々に振る舞われたのでしょう。
大日向II遺跡の縄文時代前期の捨て場からは、大量の土器と共に、シカやイノシシの骨も出土しています。
(教育委員会学芸員 藤田直行)

11月 November

16月	子どもの発達相談【ふ】9:30~15:00
17火	町農業委員会委員選挙の立候補予定者説明会【環】
18水	2歳児健診【ふ】13:00~13:30受付
19木	うまっこ教室【ふ】10:00~12:00
20金	
21土	
22日	第37回町郷土芸能まつり【環】
23月	【勤労感謝の日】
24火	全血献血【農業研究センター】10:00~11:00 【晴山小新築工事現場事務所前】12:00~12:45 【健康ふれあいセンター】14:30~16:00 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(要予約 23-3111)
25水	ビヨビヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
26木	地域懇談会【高家生活改善センター】15:00~ 【晴山公民館】19:00~
27金	地域懇談会【環】①15:00~②19:00~
28土	図書館ひろば【図】10:00~
29日	夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】(~1日)
30月	町税の納期(国民健康保険税5期)

12月 December

1火	こころの相談【ふ】13:30~15:30
2水	乳児健診【ふ】13:00~13:30受付 特設入権相談【公】10:00~15:00
3木	
4金	
5土	
6日	町農業委員会委員選挙投票日
7月	
8火	移動図書館車「やまなみ号」巡回(~10日) 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(要予約 23-3111)
9水	ビヨビヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
10木	学校給食費第8期納期
11金	
12土	
13日	
14月	
15火	

(カレンダー中の【 】は開催場所下記のとおり表示します)
 体:町民体育祭 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野
 球場

スナップ写真館

町民体育祭
(10月11日、ハートフルスポーツランド)

お知らせ

情報

Information

年末調整事務
説明会を開催

本年も年末調整の時期となりました。適正な年末調整事務を行っていただくため、下記のとおり説明会を開催します。すでにお手元に送付しました諸用紙を持参の上ご出席ください。

日時:

- ①11月19日(木)
13:30~15:10
- ②11月20日(金)
10:00~11:40

場所:二戸市民文化会館

【問い合わせ先】二戸税務署
(23-2701) ※音声ガイ
ダンスの後「2」を選択

タックスアンサーが
11月末で終了します

よくある税の質問にお答えする「タックスアンサー」のうち「電話音声・ファクシミリ」サービスは平成21年11月30日をもって、サービスを終了します。なお「インターネット(携帯サイト含む)」のタックスアンサーは引き続き充実に努めていきますので、お気軽にご利用ください。また税に関する一般的な相談は、税務署に電話をし音声ガイダンスに従い「1番」を選択していただければ、国税

局の電話相談センターにつながりますのでご利用ください。
 【問い合わせ先】二戸税務署
(23-2701)

県議会と県民との
意見交換会を開催

岩手県議会と県民の皆さんとの意見交換会「本音で語ろう県議会」が下記のとおり開催されます。県議会議員が出席し、県議会に対する意見や提言を伺います。参加費は無料で、事前の申し込みは必要ありません。

▶日時:11月19日(木)午後
6時30分~8時

▶場所:久慈地区合同庁舎(久
慈地方振興局)

【問い合わせ先】県議会議務局
議事調査課(019-629-
6021)

多重債務に悩む方へ
相談会を開催します

深刻化する多重債務問題に悩んでいる方々のために、東北財務局配置の多重債務相談員による無料相談を実施します。

▶日時:12月16日(水)午前
10時~午後5時

▶場所:東北財務局盛岡財務事
務所(盛岡合同庁舎1号館)

▶申込締切:12月9日(水)



【問い合わせ先】東北財務局多
重債務相談窓口(022-
266-5703)

こころサロン二戸
語り合いましょ

二戸保健所では、大切な方を自殺で亡くした経験を持つ方が語り合い、気持ちを分かち合うための会を開催します。誰にも話せなかった思い話してみませんか。

▶日時:

①11月27日(金)

午前10時から11時30分

②平成22年2月26日(金)

午前10時から11時30分

▶場所:二戸地区合同庁舎

【申し込み・問い合わせ先】二
戸保健所(23-9206)

人権に関わる問題
お気軽にご相談を

人権養護委員による人権相談所を開設します。予約の必要はありません。家庭・職場・学校・近隣のことなど、お気軽にご相談ください。

▶日時:12月2日(水)

午前10時から午後3時

▶場所:軽米中央公民館

【問い合わせ先】役場・町民生
活課(46-4735)

町営住宅入居者募集(平成21年12月上旬入居予定)

1 募集住宅の概略

町営住宅名	規格	床面積等	家賃(月額)	形式
町営萩田住宅12号 (大字軽米2-70-1)	3K	46.48㎡	5,100円~7,700円 (4段階)	4連棟
町営岩崎住宅12号 (大字上館15-5)	3DK	60.68㎡	8,200円~12,300円 (4段階)	2連棟

※家賃の額については、入居する世帯の収入と扶養者等の内容により異なります。

※募集戸数より入居希望者が多い場合は、抽選となります。

2 入居資格

(1)現在同居し、または同居しようとする親族があり、住宅に困窮していること。

(2)入居しようとする世帯員の所得合算額が、法令で定められた基準内であること。

<算定方法>

(所得金額-扶養等控除)÷12カ月=月額所得(原則158,000円以下)

※所得金額とは:世帯員(1人ずつ)の所得控除後の金額を合計した金額です。

3 募集期間

平成21年11月13日(金)~

平成21年11月24日(火)(土・日・祝日は除く)

【申し込み・問い合わせ先】役場地域整備課(46-4741)

町農業委員会委員選挙
立候補予定者説明会を開催

★立候補予定者説明会

日時:11月17日(火) 13:30~

会場:農村環境改善センター(役場となり)1階大会議室

*告示日:12月1日(火)*投票日:12月6日(日)

【問い合わせ先】町選挙管理委員会

(46-2111 内線351、352)

内科(9:00~17:00) 休日当番医 歯科(9:00~12:00)

浄法寺診療所 (38-2021)	二戸市 浄法寺	11月22日(日)	ますだ歯科クリニック (26-8282)	二戸市 石切所
松井内科医院 (33-2201)	一戸町 一戸	23日(月)	菅原歯科医院 (27-3301)	二戸市 金田一
菅整形外科皮膚科クリ ニック (23-7311)	二戸市 石切所	29日(日)	国香歯科医院(裏小路) (23-2223)	二戸市 福岡
川村医院 (23-3252)	二戸市 福岡	12月6日(日)	阿部歯科クリニック (25-4182)	二戸市 福岡
いちのへ内科クリニック (33-2701)	一戸町 高善寺	13日(日)	岩淵歯科医院 (32-2238)	一戸町 一戸

さるなしドリンク20%果汁登場!

(問) 輪軽米町産業開発(TEL46-4222)

毎月最終日曜日がお買い得

ミル・みる感謝デー

今月は11月29日

(問) ミル・みるハウス(TEL47-1030)



好評発売中

軽米町産さるなし100%使用

さるなしのお酒

(甘口、リキュール)

500ml ¥1,260(税込み)

販売元・お問い合わせ
リカー&フーズこぼやし(TEL46-2059)

※広報かるまいでは、町内の業者等からの広告を募集しています。(問) 役場総務課(TEL46-2111)



冠婚葬祭 9月届出分 〈敬称略〉

おめでた ()内は父母の名

横 枕 古 館 匠 馬 (正裕 菜穂)

おしあわせに

{ 柳 谷 将 史 (大 町)
本 田 成 美 (二 戸 市)

おくやみ ()内は享年

蛇 口 西 館 キ サ (83歳)

向 川 原 戸 草 内 廣 (71歳)

蛇 口 駒 目 光 榮 (68歳)

向 川 原 加 藤 タ カ (73歳)

上 館 小 林 金 一 (87歳)

大 町 工 藤 キ セ (85歳)

河 北 山 本 三 蔵 (100歳)

桜 山 佐 藤 鉄 男 (79歳)

上 河 南 江 刺 家 泉 (78歳)

下 円 子 小 林 喜 市 郎 (79歳)
上 組

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。



県立軽米高校(笹山真澄校長、生徒304人)の前で、さまざまな表情を見せる「ジャック・オー・ランタン」。同校では毎年、異文化理解のために戸田のカボチャ祭りで使用したカボチャを使ったランタン作りを行っています。本年度は1、2年の生徒約120人が挑戦。アニメのキャラクターやオリジナルのデザインをしたものなど、85個のランタンが夜の校舎前を飾りました。

ある日の風景

我が家の人気者 すこやかさん



春からバトンを習い始めたみさきちゃん。くるくると上手に回せるようになってきました。弟のゆうくんは、保育園に通うようになってからでも自分でやるようになりまし。これからは、頑張りなうね!

左) 古館 美沙姫ちゃん (4歳9カ月)

右) 悠 仁くん (2歳11カ月)

愛称：みさき、ゆうと

(観音林南) 錦之助さん・陽子さんの長女・長男

●人の動き <平成21年9月30日現在/町民生活課調べ>

男 5,330人(+2) / 女 5,486人(+7)

合計 10,816人(+9) / 世帯数 3,730(+6)

※()は前月比

転入 33人(179人) / 転出 13人(252人)

出生 1人(41人) / 死亡 12人(124人)

※()は1月からの累計

ほっとひといき / 編集後記

水 害当時高校生だった私は、今まで水害のことをあまり知りませんでした。しかし今回の取材で皆さんから話を聞くことにより当時の大変な思いや被害を知ることができました。あのような水害が二度と起こらないことをまずは祈りたいと思います。

そ して取材を通して備えの大切さを学びました。これからの季節は暖房機器による火災も心配されます。火災は防げるものですので十分注意しましょう。あとはお父さん方、奥さんからの雷も未然に防げるはずなので防ぐ努力をお願いします! (山下)